

海野光弘のこと 安倍川のほとりの青春

岩崎芳生 (S32 年卒)



本の表紙 光弘高校一年の版画
『徳願寺山風景』

海野光弘の名をご存知だろうか。日本各地の民家を描いた版画家で知られ、すでに全作品をおさめる「島田市博物館・海野光弘分館」があるが、彼自身は残念なことに昭和五四年に物故した。享年三九歳は夭折と言うべきであろう。

二人の関係から言えば、海野光弘は昭和三三年静商卒業で、私の一年後輩でもある。新聞部員だった彼の場合は在校中から知っていたが、実のところ、海野が中学時代から版画で全国に名の出た生徒だとは知らなかった。

少し彼の生涯を追うと、静岡市の末広中学で、当時の無着成恭の「山びこ学校」の運動に賛同した教師の指導を受け、作品が小中学の教科書に掲載されるほどのレベルにあった。高校時代にも、NHKの三〇分全国向けテレビに、「版画

少年」として単独番組に出演している。まだ民放テレビの発足前である。

静商卒業後は、版画をやりたい一心で日立の宣伝部を一年でやめて帰郷し、染色の家業につく。例えば波風のない一筋道のように、彼が当時の静岡市の西境の宇津の谷に出会い、古民家とそこに暮らす人々で開眼するまで、十年の歳月を要した。

私は昨年、海野光弘の芸術の生涯を評伝に書いた。これまでに小説集は四冊出たが、伝記は別物である。小説家の生命の想像力は極力抑える必要がある。しかし書きたい相手は、高校からその死の床まで自分の身近かにいた友人である。資料を並べて良しとは出来ない。

幸いにも彼と静商同期の海野夫人(旧姓森克江)より、中学から二五歳までの日記帳をお借りしていたから、あとは肉付けである。私にできる方法は、自分を海野光弘の精神形成期に同化することだった。

私は彼が好んだ学校の窓から見た風景の中を歩いた。安倍川の土手、河川敷(中学時代の、川原の集落の群作は代表作である)、対岸の徳願寺山、木枯らしの森に通う農道、そこで版画家は夢想を育んだ。ひっそりした山蔭の家と、その屋根の下で暮らし。彼はそれを追求し、日本の果てまで歩き、日本風景の典型をつかんだ。昨年の八月、『評伝海野光弘・風と光への旅立ち』の出版記念会があり、彼を知る多くの人にお出でいただいた。出版関係、研究者、そして多くの学校時代からの友人。ある教師は青森十力所村から駆けつけた。版画家は四十年前にそこを訪れ、まだ原発の来な

い牧歌の村を板に刻んでいたのだ。

その会が縁で、同期の四人が熱海に集った。関東支部役員の本佐森達夫、中部支部長の坂本周造、静岡の労組のリーダー松永昌治の三君とである。彼らの共通項は「わが道を行く」と言えそう。

私事だが、一時は大江健三郎らビッグネームと文芸誌上で筆名を並べもしたが、それを職業とするには至らなかった。あるいはその故に、今も細々と小説の筆を折らずに来たかもしれない。長くやってきて今思うのは、こういう生き方であれ、人は自然に己の道を見つけて歩いているものだ、ということである。



出版記念会にて
海野光弘夫人と

岩崎芳生(いわさきほうせい)さんのプロフィール
1936年静岡市生。
日本ペンクラブ、静岡県文学連盟所属。小説集『隠国』(審美社)『橋の眺め』(審美社)『水船の空』z8審美社)『酷月』(文芸社)など

関東で活躍する 静商OBインタビュー

秋田秀幸さん (S49年卒)
現中央大学
硬式野球部監督



中大公式サイト
www.ne.jp/asahi/chuo-u/baseball/

静商硬式野球部時代2度センバツに出場、東都大学リーグ、中大では4年間全試合全インングに出場、1年秋には首位打者とベストナイン受賞、卒業後は中日に入団、現役引退後、会社社長、中大OB幹事を歴任。2012年から中大監督に就任、ユニホームは30年ぶり、それも初の監督という2期目に突入した秋田さんにお話を聞きました。

秋田さんと同期の高山さん、内田さんも同席。ちよっと、一杯気分のインタビューは素顔の秋田さんに接して楽しいひと時となりました。

Q…静商時代どんな生徒でしたか？

A…同級生のお二人が回答
T氏 野球だけでなく勉強もできた。親分肌で彼の言うことは皆聞いた。

U氏 僕らのヒーロー、スーパースター

Q…静商時代特に印象に残る出来事は？

A…2回センバツに出場して今治西と広島商に1回戦負け、悔しかったなあ！

3年夏の県大会で本命視されていたのに準々決勝で負けたこと。主将を務めていた最後の試合だったので忘れられない。

Q…中央大学を選んだのは？
A…先輩の藤波さんがいたことと、中大に入ったら1年から試合に出れると思った。

*実際の通りの活躍でした。
Q…中大監督に就任してどんなチームにしようと思いましたか？
A…明るく元気なチーム、もちろん目標は優勝！出来るか出来ないかは別にして、一部残留じゃ選手が自分自身を奮揮できるチーム作り。

Q…監督就任前の中大は最下位でギリギリ一部に残留でしたが監督就任後春3位秋2位と順位を上げてチームに勢いを感じ、選手もイキイキプレイしてますね。
A…前任の高橋監督が二部から一部に引き上げてくれたから自分はず打撃力をアップさせる、攻撃野球を目指し、見逃し三振は許さない！練習も全力投球で、をモットーとし選手もそれに答えてくれた結果かな？

*学生からの監督の人物像に『何事にもすごく熱い監督！野